

多言語翻訳技術の社会展開

～ EXPO 2025 大阪・関西万博で活躍するNICT発の翻訳技術～

概要

多数の外国人来場者でにぎわう大阪・関西万博で「言葉の壁」のない未来のコミュニケーション環境を実現すべく実装・実証されている、NICTの多言語翻訳技術を用いた機器やサービス等をご紹介します。

大阪・関西万博での多言語翻訳技術の活用シーン

未来社会ショーケース事業 デジタル万博 自動翻訳システム

協賛：TOPPANホールディングス（株）、SoundUDコンソーシアム、（株）NTTコム、（株）みらい翻訳

イラスト提供：2025年日本国際博覧会協会

1対1のコミュニケーションで利用
翻訳アプリ「EXPOホンヤク」

(TOPPANホールディングス)



ツアーなど1対複数人で利用できるサービス
「EXPOホンヤク Remote」

(TOPPANホールディングス)



FLE期間展示出展

出展企業：SoundUDコンソーシアム

最先端の同時通訳技術の展示
「通訳キャラクター」

(SoundUDコンソーシアム)



セミナーなどで体験できる最新技術
「EXPO同時通訳システム」

(TOPPANホールディングス)



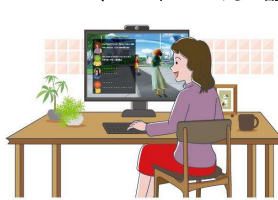
会場内で流れるアナウンスを翻訳
「テキストアナウンス」

(SoundUDコンソーシアム)



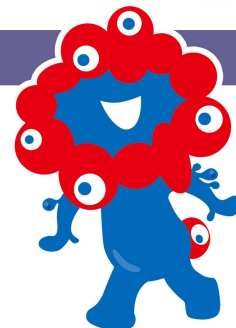
バーチャル会場での
多言語チャットコミュニケーション

(NTTコム・みらい翻訳)



特徴

- ・純国産翻訳エンジンとして
NICT技術を活用したサービス
- ・最先端のAI同時通訳技術、
逐次翻訳技術

大阪・関西万博公式キャラクターミyakuma
©Expo 2025

ユースケース

- ・スタッフや来場者間での多言語コミュニケーション
- ・セミナーでの講演内容の同時通訳
- ・会場内アナウンスの多言語対応
- ・バーチャル万博での外国人とのチャット会話

今後の展開

- ・万博をショーケースとした翻訳技術の国際展開
- ・国内外における社会実装の促進
- ・万博での知見を活かした新たな翻訳サービスの創出

【お問合せ先】

ユニバーサルコミュニケーション研究所 総合企画室

Mail: ict@khn.nict.go.jp

NICTオープンハウス2025

Copyright © 2025 NICT All Rights Reserved.